

「群馬デジタルイノベーションチャレンジ」事業における メールの宛先の誤りについて

標記について、次のとおり個人情報（メールアドレス）が第三者へ誤送信される事案が発生しました。

今後、このようなことがないように管理・監督を徹底し、再発防止に万全を期してまいります。

1 概要

「群馬デジタルイノベーションチャレンジ」事業について、本事業の委託事業者である株式会社上毛新聞社が、参加する児童の保護者に対してメール連絡を行う際、本来「BCC」で送るべきところ、誤って「TO」で送信したものを。

<誤送信された個人情報（メールアドレス）>

- ①「パレイストラ関根」地域 ICT クラブ参加者（保護者）9名
 - ②「スマイル放課後児童クラブ」地域 ICT クラブ参加者（保護者）10名
- ※①、②それぞれの参加者間で個人メールアドレスが公開される状態となった。

2 経過

6月13日（月）

- ・11:16-17 個人メールアドレスが公開状態でメール送信（直後に誤送信を覚知）
- ・11:22 委託事業者（株式会社上毛新聞社）から群馬県への電話連絡。
委託事業者に対し、メール削除を依頼。
- ・11:29-42 委託事業者が、流出した参加者全員に対し、メール削除を依頼。

※6/14(火)までに、委託事業者が、順次個別で流出した参加者全員に対して電話連絡を完了予定。

3 今後の対応

県は委託事業者に対し、個人情報の厳正な管理や情報セキュリティ指導の徹底、メール送信時の複数名での確認の徹底等について再度指導・監督する。